

ホームページ
株主・投資家情報のご紹介

弊社の最新・詳細情報は
ウェブサイトよりご覧いただけます。



株式会社のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

[ホームページアドレス](http://www.hibiya-eng.co.jp/)

<http://www.hibiya-eng.co.jp/>

株主名簿管理人/
特別口座の
口座管理機関/
同事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部

(問い合わせ先)

東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (電話料無料)

(郵便物送付先)

〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

各種手続のご連絡

- 未払配当金のお支払について
株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行へお問い合わせください。
お支払期限は定款の定めにより支払開始日から3年となっております。
- 単元未満株式(100株未満)をご所有の株主様
下記の制度をご利用いただけます。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行へお問い合わせください。
 - ・ 買い取り制度：単元未満株式を当社に売却する。
 - ・ 買い増し制度：単元(100株)にするため不足する株式を当社より購入する。
- 住所変更、配当金受取方法変更について
<証券会社に口座をお持ちの株主様>
ご利用の証券会社へお問い合わせください。
<特別口座(特別口座へ記録されている)の株主様>
口座管理機関である三菱UFJ信託銀行へお問い合わせください。
特別口座でのお手続用紙のご請求はインターネットでもお受け付けております。

https://safe.tr.mufg.jp/cgi-bin/daikou/youshi_01.cgi

第56期 IR通信 中間
株主・投資家の皆様へ
2020年4月1日から2020年9月30日まで

時代にまっすぐ、技術にまじめです。



目次

ごあいさつ	1
事業報告	2
特集: 第7次中期経営計画の概要	3-4
当期の主な完成物件	5-6
財務ハイライト	7-8
株式の状況	9
役員/会社概要	10

※ご注意
本誌には、将来の業績予想などに関する記述が含まれています。こうした記述は将来の業績を保証するものではなくリスクと不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、本誌の予想数値とは異なる可能性があります。

株主・投資家の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

2020年に新型コロナウイルス感染症拡大が世界経済に大きな打撃を与え、その影響は依然として衰えておりません。一方、我が国経済は金融緩和政策の継続と政府の財政支出に支えられてまいりましたが、感染症拡大等により先行きの不透明感は依然として継続しており、当社グループを取り巻く事業環境も厳しい局面を迎えることが想定されます。

当面は「Withコロナ」での経済環境を想定する必要があるのは勿論ですが、デジタル化や持続可能性といった課題を中心に、加速する社会的ニーズの変化にしっかり対応してゆかねばならないと考えております。

こうした環境の下、当社グループでは第7次中期経営計画を2021年3月期第2四半期決算と併せて発表し、スタート致しました。本中期経営計画におきましては、「共創による顧客創出と高付加価値ビジネス」、「技術の高度化」、「働き方と多様性」、「会社経営の健全性」、および本中期経営計画以降の成長戦略を目指した『HIBIYA未来創造』をテーマとした戦略・施策をまとめております。今まで培ってきたお客様から当社グループへの信頼をベースにさらなる発展を遂げ、企業価値向上を実現してまいります。

当社グループにおきましては、引き続き、コア事業である設備工事業の収益力強化と新たな事業機会の創出に努め、また、株主還元の着実な実施等によるステークホルダーの皆様への貢献にも取り組んでまいります。そして、中長期的には全てのステークホルダーの皆様から“選んで頂ける会社”、社員にとって“より働きがいのある会社”を目指してまいり所存です。

皆様方におかれましては、引き続き当社グループへのご理解とご支援を賜りますよう、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長 黒田 長裕

2021年3月期第2四半期の業績

2021年3月期第2四半期は、受注高は減少したものの、前期繰越の大型案件の完成及び利益率の改善等により、前年同期比で増収増益となりました。

■ 受注高	305億 2百万円 (前年同期比: 7.1%減)
■ 売上高	318億 91百万円 (前年同期比: 11.6%増)
■ 営業利益	11億 53百万円 (前年同期: 営業損失3億26百万円)
■ 経常利益	15億 68百万円 (前年同期: 経常損失1億55百万円)
■ 親会社株主に 帰属する四半期純利益	10億 56百万円 (前年同期: 四半期純損失1億40百万円)

2021年3月期の業績予想

2021年3月期の業績予想(通期)につきましては、新型コロナ感染症拡大の影響が当初の想定より限定的であったため、以下の通り上方修正いたしました。

	受注高	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
2021年3月期 (2020年11月6日発表)	720億円	740億円	30億円	35億円	20億円
当初業績予想 (2020年5月22日発表)	620億円	680億円	20億円	24億円	15億円

当上半期におけるトピックス

当社グループは、「様々なステークホルダーとの共創によるLC(建物ライフサイクル)トータルソリューションの進化」、「技術の高度化による生産性向上」、「働き方改革“Smart Work”の推進」を基本戦略に業績達成に向けて取り組んでまいりました。

アライアンスを活用した新たな省CO₂事業や現場フォロー体制強化による技術力向上を目指した“ONE TEAM活動”や“Face to Face活動”などの取り組みを実施しております。

また、新型コロナウイルス対策としましては、在宅勤務によるテレワークの促進、セミナーや研修などをWeb開催するとともに、職場環境の整備を図るなど、各職場において感染症予防策の徹底に努めてまいりました。

さらに、7月にはDXビジネス推進室を発足させ、新たな設備環境の提案やIT化による業務効率化を推進するため、自社オフィス内で各種センサを設置し、スマート技術の実証に着手しております。

配当・株主還元施策

■ 2021年3月期 計画

株式配当金: 1株につき年間80円配当とする予定(当初計画通り)
中間配当は1株当たり40円とする

すべてのステークホルダーの皆様にとって“魅力ある 会社”へ。さらなる成長と企業価値の向上を目指し、第7次中期経営計画を策定しました。

基本方針

コア事業の収益力強化と新たな事業機会の創出による成長と企業価値向上

「人財×技術」で持続可能な社会の実現に貢献

数値目標(最終年度)

受注高	売上高	営業利益	親会社株主に帰属する当期純利益	ROE
800億円	800億円	45億円	35億円	6.0%以上

基本戦略

<p>営業戦略</p> <p>様々なステークホルダーとの共創による LCトータルソリューションの進化</p> <p>新たな顧客基盤の創出 高付加価値ビジネスの拡大</p>	<p>技術戦略</p> <p>技術の高度化による生産性向上</p> <p>技術力・競争力 安全・品質</p>
<p>人財戦略</p> <p>働き方改革“Smart WORK”の推進と 多様性(ダイバーシティ)</p> <p>人財ダイバーシティ ワークスタイル変革 健康増進</p>	<p>ガバナンス</p> <p>会社経営の健全性を確保</p> <p>内部統制システムの整備 コンプライアンス体制の充実 透明性の確保</p>

グループ戦略

グループのバリューチェーンを有機的に展開

<p>日比谷通商 商社(設備機器販売等)</p> <p>アライアンスパートナーとの協業</p>	<p>ニッケイ メーカー(防災機器製造等)</p> <p>グループ間連携の強化</p>
--	--

ESGへの対応

持続可能な社会実現に貢献し、企業価値向上を目指す

<p>Environment</p> <p>持続可能な社会環境への取り組み</p>	<p>Social</p> <p>Smart WORKへの積極的な取り組み</p>	<p>Governance</p> <p>経営の健全性を確保</p>
--	--	---

HIBIYA未来創造

「未来の街・建物の姿を想像、新たな付加価値を創造」をコンセプトに下記のテーマを掲げ、日比谷の未来に向け取り組んでいく

<p>設備工事を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> アライアンスやM&Aの可能性を視野に入れ、グループバリューチェーンの強化・拡張による、総合設備業の高次元化を追求 DXを新たなコアバリューとして確立 	<p>事業領域を広げる</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術開発を推進するイノベーションラボを開設し、街・建物の未来を創造 建物まるごとソリューション企業への進化 	<p>経営基盤を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> 日比谷メソッドの体系化と長期人財課題への未来投資 「HIBIYA未来創造」を実現できる高度人財の組織的育成・活躍できる機動的組織の構築
--	---	---

財務戦略

第7次中期経営計画実現に向けた収益基盤の強化による持続的成長

<p>「HIBIYA未来創造」に向けた投資</p> <ul style="list-style-type: none"> グループバリューチェーン強化・拡張のためのアライアンス・M&A等 DX基盤強化推進による業務改善・生産性向上 技術開発力・提案力強化・人財開発 	<p>株主還元</p> <ul style="list-style-type: none"> 安定的な株主配当の維持・向上 機動的な自己株式取得
--	---

当期の主な完成物件

凡例 ▶▶ 1 所在地 2 延床面積 3 規模 4 当社施工

MIYASHITA PARK 複合商業施設



- 1 東京都渋谷区
- 2 46,086㎡
- 3 地上18階／地下2階
- 4 空調

WITH HARAJUKU 複合商業施設



(撮影:渡部洋司)

- 1 東京都渋谷区
- 2 26,666㎡
- 3 地上10階／地下3階
- 4 空調・給排水

住友不動産麹町ガーデンタワー オフィス



- 1 東京都千代田区
- 2 47,950㎡
- 3 地上22階
- 4 空調・給排水

NTT新九品寺ビル オフィス



- 1 熊本県熊本市
- 2 6,833㎡
- 3 地上6階
- 4 空調・給排水

ヴィラフォンテーヌグランド東京有明 ホテル



- 1 東京都江東区
- 2 33,522㎡
- 3 地上16階／地下1階
- 4 空調・給排水

ESR尼崎ディストリビューションセンター 物流施設



- 1 兵庫県尼崎市
- 2 388,570㎡
- 3 地上6階
- 4 給排水

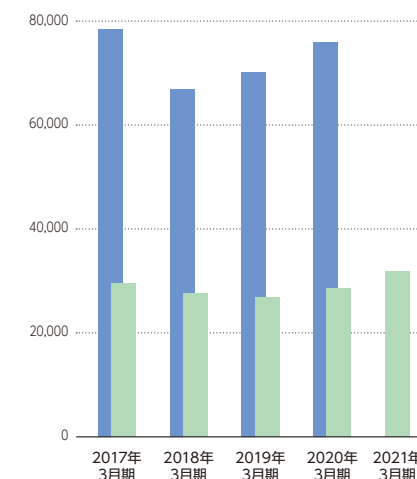
(単位:百万円)

	第55期 第2四半期	第55期	第56期 第2四半期	前年同期比 増減額
	2020年3月期	2020年3月期	2021年3月期	
売上高	28,578	75,890	31,891	+ 3,312
売上総利益	3,491	11,986	4,903	+ 1,412
営業利益(△損失)	△326	3,690	1,153	+ 1,480
経常利益(△損失)	△155	4,239	1,568	+ 1,724
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益(△損失)	△140	3,537	1,056	+ 1,197
純資産	58,212	58,294	59,899	+ 1,686
総資産	74,287	83,632	76,178	+ 1,890
自己資本比率(%)	76.6	68.1	76.7	+ 0.1
従業員数(人)	941	940	945	+ 4

■ 通期 ■ 第2四半期

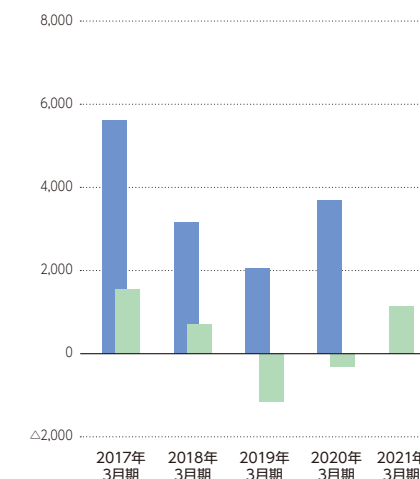
売上高

(単位:百万円)



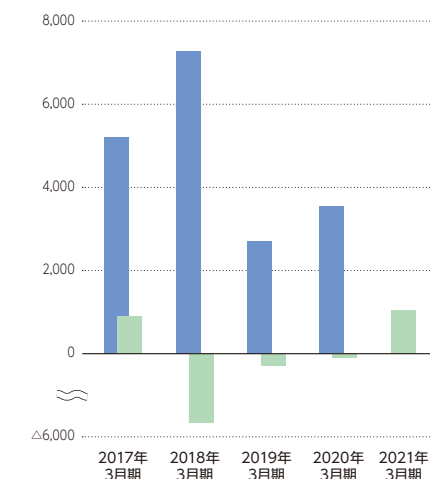
営業利益

(単位:百万円)



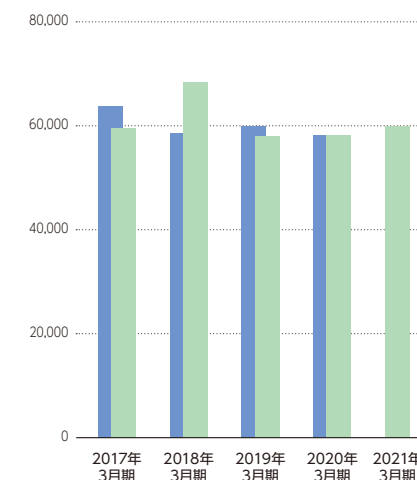
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位:百万円)



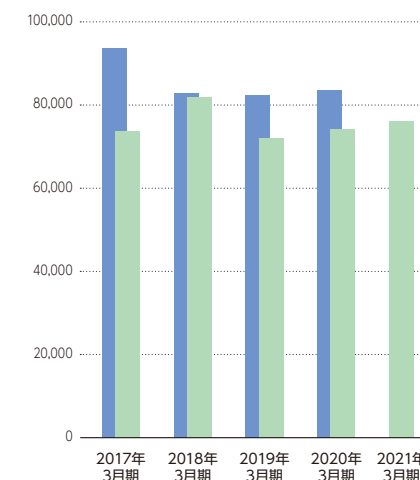
純資産

(単位:百万円)



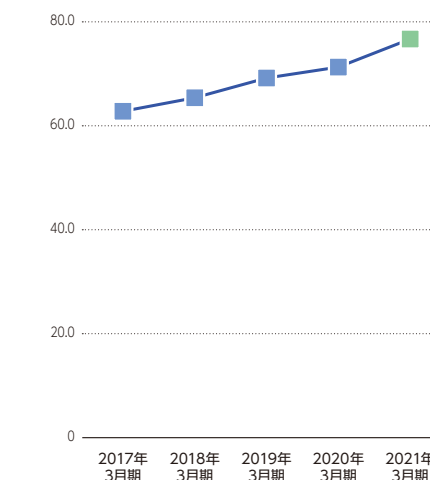
総資産

(単位:百万円)



自己資本比率(%)

(単位:%)



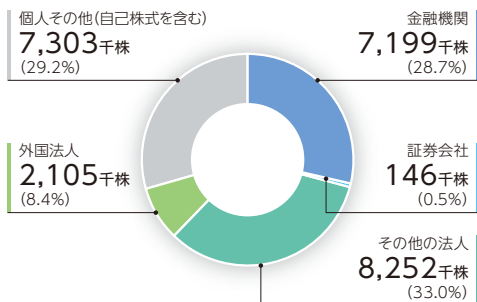
発行する株式の総数 96,500,000株
 発行済株式の総数 25,006,321株
 株主数 3,325名

大株主の状況

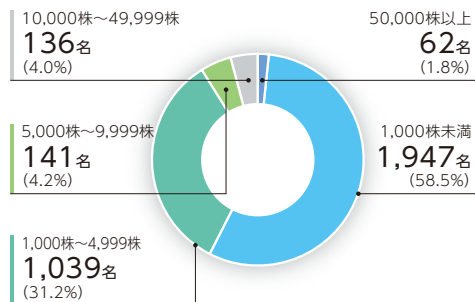
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,453	6.05
日比谷総合設備取引先持株会	1,288	5.36
エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社	920	3.83
住友不動産株式会社	920	3.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・株式会社百十四銀行口)	900	3.70
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	789	3.29
一般社団法人電気通信共済会	698	2.91
日比谷総合設備従業員持株会	685	2.85
共立建設株式会社	594	2.47
株式会社協和エクシオ	530	2.21

(注) 当社は、自己株式936千株(発行済株式総数の3.75%)を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。なお、当該自己株式には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式は含めておりません。

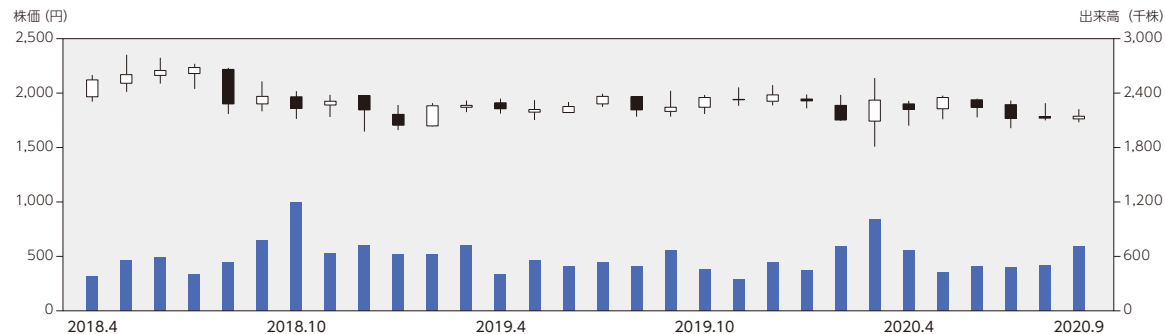
所有者別株式分布状況



所有株式数別分布状況



株価および出来高の推移



取締役及び監査役

代表取締役社長	社長執行役員	黒田 長裕
代表取締役副社長	副社長執行役員	香月 重人
取締役	常務執行役員	蒲池 哲也
取締役	常務執行役員	貫川 博史
取締役	常務執行役員	山内 祐治
取締役	上席執行役員	富江 覚司
取締役		渥美 博夫
取締役		橋本 誠一
取締役		大砂 雅子
常勤監査役		桑原 亨二
常勤監査役		植草 秀一
監査役		伊藤 晶
監査役		只腰 博隆

(注) 1. 取締役渥美 博夫、橋本 誠一、大砂 雅子は社外取締役であります。
 2. 監査役桑原 亨二、伊藤 晶、只腰 博隆は社外監査役であります。
 3. 取締役渥美 博夫、橋本 誠一、大砂 雅子及び監査役桑原 亨二、伊藤 晶、につきましては、東京証券取引所に対し独立役員として届け出ております。

執行役員

常務執行役員	古閑 一誠
常務執行役員	遠藤 護
上席執行役員	諏訪 光悦
上席執行役員	小原 安正
上席執行役員	享保 裕彦
上席執行役員	荒井 泰徳
上席執行役員	堀 泰彰
執行役員	小山 実
執行役員	金子 昌史
執行役員	豊田 忠之
執行役員	新 邦夫

商号：日比谷総合設備株式会社
 Hibiya Engineering, Ltd.

設立年月日：1966年3月9日

資本金：57億53百万円

株式：東京証券取引所市場第一部

従業員数：個別 786名 連結 945名

事業内容：(1) 空調装置工事
 (2) 電気設備工事並びに通信設備工事
 (3) 給排水その他衛生設備工事
 (4) 建築並びに土木の設計及び工事
 (5) 建築設備、環境衛生関係機器の製造及び販売
 (6) 建築物、建築設備の保守管理、警備及び清掃業務
 (7) 建物セキュリティシステムの開発、設計、施工、販売及び保守
 (8) 前各号に関するコンサルティング業務
 (9) 前各号に付帯する事業

建設業許可：国土交通大臣許可(特-2)第3931号
 管工事業、電気工事業、電気通信工事業、水道施設工事業、建築工事業、土木工事業、ほ装工事業、とび・土工工事業、消防施設工事業

一級建築士事務所：東京都知事登録第28260号

事業所：

本社 東京都港区三田三丁目5番27号

東京本店 東京都港区芝浦三丁目4番1号

支店 北海道、東北、横浜、東海、北陸、関西、中国、四国、九州、沖縄

営業所 函館、岩手、新潟、長野、茨城、北関東、千葉、静岡、神戸、岡山、熊本、鹿児島

研究施設 千葉県野田市